

[出演]

ムハンメット・リファット・チナル (スーフィの歌)

ウエダタカユキ (ラバーブ・ウード、他)

石田秀幸 (ネイ)

石田みか (タンブール)

ノミヤタカコ (ドフ、他)

5/29 SUN  
DAY  
13:30 開演  
13:00 開場

東京ジャーミイ新館地下1階

エルトワール講堂

千代田線・小田急線

代々木上原駅より徒歩5分


TICKET  
完全予約制



¥4000

小学生以下無料



スペシャル交流会   
¥1000 (トルコチャイ+スィーツつき)

15:30-16:30

完全予約制

お支払いは当日現金になります



スーフィ音楽プロジェクト 2022 Vol.1

# トルコ・オリエント音楽コンサート

## スーフィーの詩とオリエント民族楽器の邂逅

前半 メヴラーナ(ルーミー)の詩句解説と器楽演奏

後半 ユヌス・エムレの詩と器楽、歌の演奏

[主催]

Tokyo modal music lab

[後援]

一般社団法人ユヌスエムレ・トルコ文化センター

宗教法人東京ジャーミイ・ディヤナト トルコ文化センター

NPO 法人一期 jam

文化庁「ARTS for the future! 2」補助対象事業

ARTS2  
ARTS for the future! 2

Tokyo Camii  
東京ジャーミイ  
YUNUS EMRE  
ENSTITUSU



### ウエダタカユキ (ラバープ、ウッド他)

97～99年、米国パークリー音楽院にギター専攻で在学、Jamy Hadad氏に師事。その後世界30カ国以上を旅しながら、各地に伝わる民族音楽を学びシルクロードのショートネックリュート属ラバープ、イスタンブールの古典楽器などによる演奏やドキュメンタリー映画音楽の作曲、編曲を手がける。Tokyo modal music lab 主宰。

### 石田秀幸 (ネイ)

2003年よりイスタンブールに一年間滞在し、トルコのスーフイーの葦笛「ネイ」をアイチャ・エンギン氏より、またバルカン半島からトルコ周辺に分布する羊飼いの笛「カヴァル」をトルコ国营放送のオスマン・アクタシュ氏、ブルガリアのカヴァルの権威リューベン・ドセフ氏、マケドニアの若手気鋭奏者バイサ・アリフォスフカ氏よりそれぞれのスタイルを学ぶ。



### 石田みか (タンブール)

2003年秋より一年間、トルコ共和国イスタンブール市に滞在、サズ奏法の取材・学習。それまでの成果をもとに演奏活動を行う。ブルガリアやマケドニアの、サズと同じロングネックリュート属の弦楽器タンブーラの演奏も行う。主にトルコ民謡をレパートリーとし、独特な歌声にも定評がある。



## トルコ・オリエント音楽コンサート スーフイーの詩とオリエント民族楽器の邂逅 出演者プロフィール

### ムハンメット・リファット・チナル

1982年トルコ共和国サムスン出身。1995年ハーフィズ(クルアーンの暗誦者)の称号を得る。アンカラ大学神学部とアナドル大学経済学部行政学を卒業。朗読と宗教音楽の分野で訓練を受ける。2004年にイマームハティップとして働き始める。その後、監査員さらに教育センターで朗読と宗教音楽の教師として勤務を続け、2019年に宗務庁から東京ジャーミイのイマームハティップに任命される。



### ノミヤタカコ (パーカッション)

1998年頃から中東の打楽器ダルブツカの演奏活動を始める。国内では海沼正利氏、エジプトでHani Bedir氏に師事。ダフ(杵太鼓)レク(アラブのタンバリン)も独学し演奏する。アラブやトルコの民謡、古典演奏、バルカンや東欧の音楽のみならずアフロファンク、ボサノバ、アイリッシュ、歌謡曲など多様なジャンルでの活動を通してダルブツカの可能性を模索。

Le Club Bachrafに加入後アラブ古典に腰を据え、バーレーン、チュニジアでの公演経歴を積む。(～2006)2007年出産以降数年のブランクを経て、現在はアラブ古典やトルコ民謡中心に活動中。

